

空と、風と、緑と、アート。

アートによるまちづくり発祥の地・UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)

UBEビエンナーレは、戦後の街の美化と心の豊かさを求める市民運動を契機として1961年に始まった野外彫刻展です。

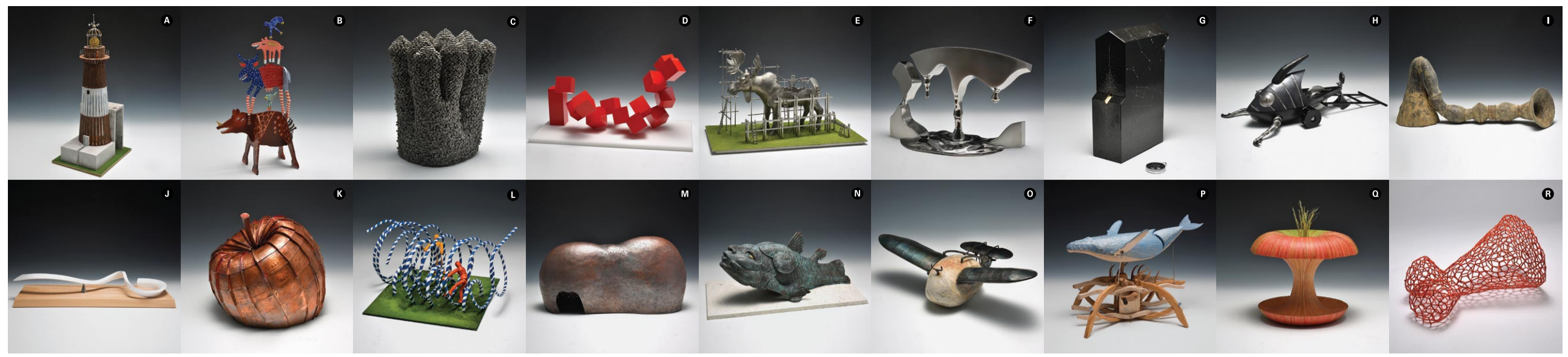
「まちづくり」にアートを取り入れた試みとしては、国内初の事例とされています。

現在では世界30カ国のアーティストが応募する世界で最も古い歴史を持つ大規模な国際コンクールへと発展しました。

第27回UBEビエンナーレでは、29か国277点の応募の中から選ばれた見て触れて楽しむことのできる

野外彫刻18点と、40点の入選模型作品を展示します。

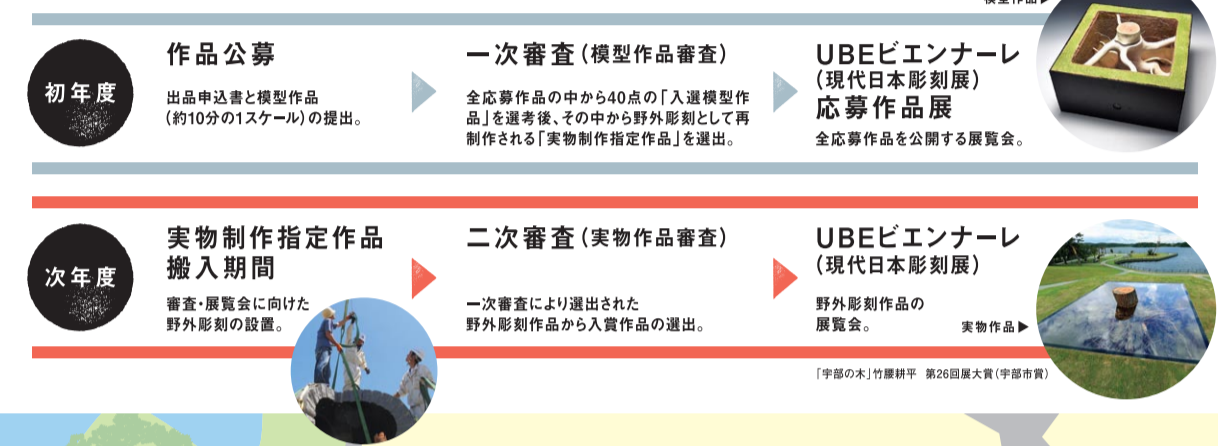
展覧会終了後、上位受賞作品はまちなかや公園・学校等に移設され、市内では常時200点の歴代出品作品を鑑賞することができます。



# The 27th UBE BIENNALE

## UBE International Sculpture Competition

### UBEビエンナーレ開催の流れ



【出品作家】

(野外彫刻)

- ナカイド タケヒコ A
- Hans SCHOHL B
- 北川 太郎 C
- 武田 克史 D
- 村中 保彦 E
- 金 景賢 F
- 藤島 明範 G
- 首藤 晃 H
- 土井 宏二 I
- 熊谷 文秀 J
- 土屋 昌義 K
- 増野 智紀 L
- 伊藤 嘉英 M
- 安藤 泉 N
- 佐藤 慈男 O
- 神山 豊 P
- 石上 和弘 Q
- 岡田 健太郎 R

(入選模型作品)

- 奥田 誠一
- Marcello CORRÀ
- 達哉 ムチャョ
- 平山 悟
- 袖野 朝男
- Ségolène ROMIER
- 堀谷 直美
- 林 大作
- 浅野 芳彦
- 佐野 耕平
- 戸田 裕介
- 小川 徹也
- 加藤 淳
- 土井 彰香
- 吉村 善美
- Chatchawan AMSOMKID
- KUO Kuo Hsiang
- 藤井 浩一郎
- 鈴 喬
- 手塚 元彦
- Elisabeth RAPHAËL
- Alexandra HUBINSKA

【選考委員】

- 酒井忠康 (委員長)
- 澁川喜一
- 水沢勉
- 河川龍夫
- 斎藤郁夫
- 日沼栞子
- 藤原徹平
- 不動美里
- 岸桂子
- 久保田后子

**緑と花と彫刻の博物館 ときわミュージアム**

※ミュージアムショップ カクタスでは関連グッズを販売

**世界を旅する植物館**

プラントハンター西島清順氏監修! 原産地の種生を再現した8ゾーンにシンボルツリーを植栽し、世界を旅するように珍しい植物や花、果実に出会えます。

【料金】 一般300円 / 70歳以上200円  
※高校生以下無料

9:30~17:00 (入館は16:30まで) 火曜日休館

**入選模型作品展**

【期間】 10月1日(日)~11月26日(日) 9:00~17:00

【内容】 実物制作指定作品18点を含む計40点の入選模型作品を展示します。

【会場】 ときわミュージアム イベントホール

**野外彫刻ピクニックセンター**

**みる・よむ・つくる**

**UBEビエンナーレライブラリー**

【期間】 10月2日(月)~11月26日(日) 9:00~17:00

【内容】 市内の野外彫刻おすすめ鑑賞ルートや、第27回UBEビエンナーレ作品の制作の様子を写真や動画で紹介しています。

【会場】 UBEビエンナーレライブラリー

「工作コーナー」あります。

**UBEビエンナーレ彫刻の丘**

**ライトアップ**

【期間】 9月15日(金)~11月5日(日) 18:00~22:00

【内容】 第27回UBEビエンナーレ作品をライトアップします。

**世界を旅する植物に 住まう生き物たち**

team:Lab:Ube Tokiwa Park 2017

Geoff's Nature - Living in the Botanical Garden

2017.9.15(金)-11.5(日) 19:00-22:00

植物館で開催中。

**アートギャラリー**

(ときわ湖水ホール内)

**パラモデル・ハヤシヤスヒコ企画展**

**The Play**

— Play in the Work / Work in the Play

**はたらくまちがアートになる**

【期間】 10月7日(土)~11月26日(日) 10:00~16:00 (入館は15:45まで) 火曜日休館

【会場】 ときわ湖水ホール アートギャラリー

パラモデル・ハヤシヤスヒコは、町工場が数多くある大阪に生まれました。子供時代の多くの時間を工場内で過ごし、そこにある素材の断片とおもちゃを組み合わせて遊んでいました。日本の高度経済成長期を支えてきた町工場には、大量生産された部品が持ち込まれ、それは色々な製品に加工されてまたどこかに運び出されていきます。子供の頃からそうした光景を見て育ったハヤシは、超生産性と拡張性を特徴とし、既製の玩具やプロダクト製品、建築資材などを用いて作品を制作するようになります。

本展では、建築の配管に使用するPVCパイプや銅管パイプをモチーフにしたインスタレーション作品や彫刻作品を中心に展示します。タイトル「THE PLAY」は、遊びの行為を造形作品に転化するハヤシの制作スタイルをストレートに表現するものです。ハヤシのイマジネーションと字部のまちが会出することで、どのような風景が出現するでしょうか。過去と現在、そして未来とをつなぐアーティストの豊かな表現世界に触れ、遊びの中から生み出される人間の根源的な力を感じていただきたいと思います。

**橋アート 木村崇人 「カモメの駐車場」**

昔から使われている道具が、なぜその形をしているのか? その理由を知った時、昔の人の観察力が優れていたことに驚かされます。鳥は体を休める時、風が吹く方に顔を向ける習性があります。これは風の抵抗をできるだけ受けたくない鳥の知恵なのでしょう。この鳥の習性を見て、昔の人は風の方向を知るために作った風見に鳥の姿を重ね合わせ、鳥のデザインを施したのではないのでしょうか。ある日、木村は鳥が群集して同じ方向を向いて休んでいる風景を目にします。その時、風見どりのトリと、目の前にいるトリの習性とが頭の中で一致する不思議な思考の変化を体験しました。風見どりシリーズはそんな木村の気づきを形にした作品です。

【主催】 UBEビエンナーレ世界一達成市民委員会

**The Play 展 × アートルーム つなぐ配管ちょうこく!**

The Play 展に使われている建築資材などをモチーフにした工作体験コーナーでそそほ!

申込不要 参加無料